



「和 咲良」・宇部市 ～地域共生社会の実現を目指して～食事もできる放課後寺子屋

当店の取り組む事業

「三方良し」で 地域共生社会を 実現します

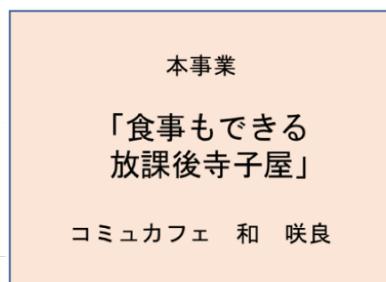


放課後児童

現状	放課後児童の増加。基本的な生活習慣と学習能力を身につけることができない子どもが増加。
本事業	健康に良い食事と、ボランティアの高齢者が学習させることができる場を提供します。
解決	人生経験豊かな高齢者から総合的な学習（教育・社会性・コミュニケーション能力・生きる力）を享受でき、健康に良い食事もできます。



行政と
地域



本事業
「食事もできる
放課後寺子屋」

コミュニカフェ 和 咲良



高齢者

現状	行政は財政難。地域の関係の希薄化。
本事業	行政の財源に頼らない、稼ぐことのできる持続可能なビジネスモデルで運営します。
解決	行政は財源いらずで地域コミュニティの衰退を解決。かつ、少子化対策と高齢者の医療費抑制を実現できます。

現状	一人暮らし高齢者の増加。孤独な生活。
本事業	豊かな経験と知見を活かし放課後児童の教育に携わっていただく場を提供します。
解決	仲間ができる、孤独・孤食を回避し、生きがいを得ることができます。そのことで健康寿命も伸びます。

放課後寺子屋事業の具体的な内容と効果

・宿題 → 基礎的な学習能力向上



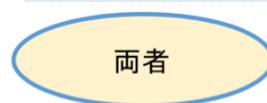
放課後児童

・高齢者とのコミュニケーション → 社会性、考える力、生きる力

・子供間でのコミュニケーション → 社会性、仲間づくり、思いやりの心

・食事

→ 孤食の回避、健康な食生活



両者

・子供とのコミュニケーション → 健康寿命の向上、セラピー

・高齢者間でのコミュニケーション → 生きがいづくり、仲間づくり、 健康寿命の向上



高齢者

放課後児童問題を解決する放課後寺子屋事業

大きな特徴

放課後寺子屋サービスの別時間で収益性の高いサービスを運営します。

つまり、行政の財源などに極力たよらずに持続的に運営できるビジネスモデルです。

カフェの定休日：日曜祝日・月曜日

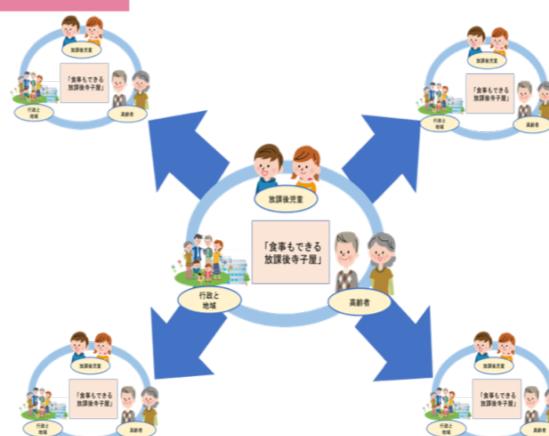
寺子屋の定休日：小学校が休みの日（月曜日は寺子屋のみ営業）

商品・サービス		ターゲット		収益モデル	人員体制				
		市周辺	市周辺		私	長男	長女	パート	家族
10時 ～12時	貸切(週1～2回) セミナー・趣味の会	ゆとりのある人	時間的・経済的	利益率 中 客単価 1000円～					
	週1～2回 お子さまTime	乳幼児連れの人 乳幼児好きな人		利益率 低 客単価 700円～					
11時半 ～14時	ランチ	お喋り好きな 40代前後の主婦	市周辺	利益率 中 客単価 1000円～					
14時 ～15時	休憩								
15時 ～18時	食事もできる 放課後寺子屋	近隣住民	放課後児童 高齢者（孤食解消）	利益率・客単価 低 *会員・チケット制					
18時 ～20時	テイクアウト		子育てファミリー	利益率・客単価 低 迎えに来てそのまま団欒					
	夕食・お酒		ゆとりある熟年世代	利益率：高 客単価2000円					

放課後寺子屋事業の中長期の目標

横展開：各校区に1つ設置

宇部市、山口県、
全国の各校区に1つ
地域で支える



『食事もできる放課後寺子屋』

この仕組で「子供」「高齢者」「行政」がもっとハッピーに。

